

**製品名:** リン酸化 $\alpha$ シヌクレイン (Ser129) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab00915

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 14 kDa; Observed MW: 18 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SNCA
別名	SNCA; NACP; PARK1; Alpha-synuclein; Non-A beta component of AD amyloid; Non-A4 component of amyloid precursor; NACP
遺伝子 ID	6622
SwissProt ID	P37840
免疫原	抗血清は、Ser129 のリン酸化部位周辺のヒトシヌクレインの合成ペプチドに対して作製された。 アミノ酸範囲: 91-140

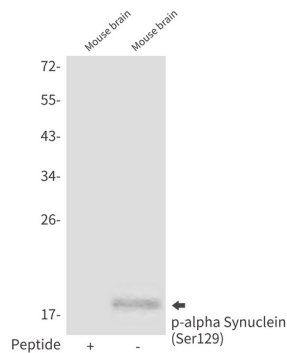
**背景**

ドーパミンの放出と輸送の調節に関与している可能性がある。微小管関連タンパク質タウの線維化を誘導する。様々なアポトーシス刺激に対するニューロンの応答性を低下させ、カスパーゼ 3 の活性化を低下させる。SNCA の遺伝子変異は線維への異常な重合を引き起こし、いくつかの神経変性疾患（シヌクレイン病）と関連している。

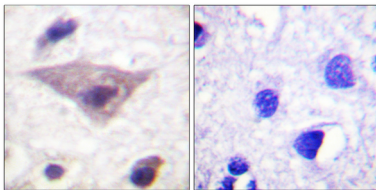
## 研究分野

神経科学

## 画像データ



ホスホ- $\alpha$  シヌクレイン (Ser129) 抗体を使用したマウス脳溶解物中のホスホ- $\alpha$  シヌクレイン (Ser129) のウエスタンブロット分析。



シヌクレイン（リン酸化 Ser129）抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム（pH 6.0）を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。